

まちのわだい

文化的風土の定着に向けて

～第19回伯耆町美術展～

第19回伯耆町美術展が11月11日(土)から13日(月)まで岸本公民館で開催されました。

この美術展は、広く町民から美術作品を募集・展示することによって、町内の美術・文化の振興に寄与することを目的としています。

今回の美術展では、一般作品が49点、特別展示が16点、児童生徒作品が118点の計183点の出品があり、3日間で608人の来場がありました。

特別展示では、伯耆町古市出身の前田進氏の洋画遺作展が行われました。

11日には前田進氏のご子息である前田真氏によるギャラリートークや、町内の版画家である生田眞氏による石版画体験のワークショップが行われ、町内外を問わず、多くの人が作品鑑賞を楽しんでいました。



じっくりと美術作品を味わっていました

地域のふれあい にぎやかに

～岸本公民館 きないや祭～

11月18日(土)、19日(日)に岸本公民館周辺できないや祭が開催されました。

この祭りは、岸本地区の児童生徒や公民館教室で活動する皆さんの作品展示に合わせて様々なイベントを企画し、町民皆さんに楽しんでもらうと毎年行われています。

19日には岸本小学校体育館で、公民館教室で活動をしている団体のステージ発表がありました。S.U.T.I.(エスユーティージュニア)合唱団は童謡『虹』、『虫歯のタンゴ』を歌い、来場者とともに歌ったり踊ったりしながら会場を盛り上げました。

また、天候不良により中止となったきしもと豊年盆踊り花火大会の一部イベントがきないや祭に合わせ行われ、19日に花火大会とお楽しみ抽選会があり、にぎやかな祭りとなりました。

なお、きないや祭で披露されたステージ発表と豊年みこし&和太鼓演奏は、伯耆町有線テレビジョン放送で1月1日(月)に放送します。ぜひご覧ください。



合唱とダンスで会場がひとつに

人権尊重の

まちづくりを目指して

～伯耆町人権フォーラム2023～

12月3日(日)、鬼の館ホールで人権フォーラム2023(第18回伯耆町人権・同和問題実践研究交流会)を開催しました。今年度は「人権尊重のまちづくりに向けて、研究と実践で交流しよう!」というテーマで、人権啓発標語入選者の表彰や中学生による人権作文の発表、岸本中学校での人権教育の実践報告などを行いました。

そして、「演劇集団あり」の皆さんによる人権劇「パパがママになる日」を公演しました。子どもから大人まで幅広い世代の参加者があり、トランスジェンダーをカミングアウトしたことによる家族の葛藤を描いた、認識が変わる感動的な公演を観て、差別のない明るく住みよいまちづくりの大切さを共有しました。



人権啓発標語発表の様子